

第 133 回八大学工学関連研究科長等会議議事録

日 時 平成 29 年 4 月 21 日 (金) 14:00～17:00
場 所 KKR ホテル東京 11F 孔雀の間
出席者 会員等 78 名 (研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席)
議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) JST-CRDS 基盤技術(工学) ワークショップ参加報告
- (3) 文部科学省との意見交換実施報告

2. 協議事項

- (1) 達成度調査の実施状況と今後の進め方について
- (2) 博士フォーラム実施報告と今後の進め方について
- (3) 八大学からの提言と今後の進め方について
- (4) 高度工学教育研究の在り方について

3. 講演

- (1) 講演 I 経済産業省産業技術環境局大学連携推進室 講演
- (2) 講演 II 文部科学省高等教育局専門教育課 講演

4. その他

- (1) 第 5 回 UK-Japan ワークショップについて
- (2) 今後の予定について

配布資料一覧

- 資料1 第 132 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)
- 資料2 JST-CRDS 基盤技術(工学) ワークショップ
- 資料3 文部科学省との意見交換会の実施について
- 資料4 達成度調査の実施状況と今後の進め方について
- 資料5 平成 28 年度博士フォーラム実施報告
- 資料6 我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着 (提言)
- 資料7 「工学教育の在り方に関する検討」関連資料
- 資料8 UK-Japan ワークショップのご案内
- 資料9 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)
- 講演 I 資料 イノベーションのための産学連携
- 講演 II 資料 大学における工学系教育の改革について

会議要録

開会の辞

北村会長から開会の挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である東京工業大学工学院の岩附工学院院长から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条第 4 項に従って幹事校代表者の岩附東京工業大学工学院院长を議長に選出した。

日程説明及び配付資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

自己紹介

議事に先立って、出席者全員からの自己紹介を行った。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認 (資料 1)

資料 1 により、昨秋 9 月 30 日に札幌にて開催した第 132 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)を確認の上、承認した。

(2) JST-CRDS 基盤技術(工学)ワークショップへの参加報告 (資料 2)

北村会長より、資料 2 を使って、昨年 11 月 25 日～26 日に JST 研究開発戦略センターが「イノベーション競争力の維持強化に必要な基盤技術への取り組み」をテーマにワークショップを開催したことが紹介された。また、大学と産業界の若手研究者・技術者を集めた会合だったことから、八大学にコメンテータ・アドバイザーの派遣要請があり各大学から 10 名の先生方に参加いただいたこと (会長より派遣御礼)、および、このワークショップに参加しての会議模様の報告があった。

(3) 文部科学省との意見交換実施報 (資料 3)

北村会長より、文部科学省との工学教育に関する意見交換会を今期の重点施策に取り上げ、昨年 8 月より昨日の工学部長会議懇談会まで計 5 回にわたって実施したことが報告された。意見交換会における議論内容の詳細はこの後の協議事項と講演会にての報告とした。

2. 協議事項

(1) 達成度調査の実施状況と今後の進め方について (資料 4)

北村会長より、達成度調査は平成 27 年度より、「調査のプラットフォームは連合会が維持、各大学が必要性と大学の実態に合わせて個別実施」という方針を採用し、資料 4 にあるように平成 28 年度は前年度からさらに 1 校減って 3 大学の実施となったことが報

告された。資料の 2 ページ目の今回のアンケートの回収状況からみても調査活動の低迷は深刻であり、八大学として達成度調査の今後の方向について今年度も運営委員会で検討を進めてもらうこととした。

(2) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について (資料 5)

北村会長より博士フォーラムについても抜本的見直しに従って平成 27 年度より「博士課程学生の意見要望を聞き教育改革に役立てる」形に抜本的見直しを行い、この 2 年間より新しい形式をトライしている事が紹介され、平成 28 年度に幹事校を務めた九州大学・高松先生より資料 5 を用いて実施報告があった。今回より博士課程を出て企業で活躍している先輩に参加してもらったことや、モデレータ(助教)の巧みさもあって博士課程学生にも参加者にも有意義のフォーラムになったとの報告があった。今年度は東北大が幹事校を担当することになっており、東北大・滝川先生より色々検討したい旨の発言があった。

(3) 八大学からの提言と今後の進め方について (資料 6)

まず、北村会長より検討経緯の説明があった。昨年 7 月の運営委員会にて、京大・大津先生を主査に「留学生問題」を取り上げることを決定、9 月の提言分科会にて骨格を作成し、秋の常設会議に提出、承認を受けて、10～11 月の留学生に関する企業アンケート(JRIA への委託実施)を実施、その結果を入れて、12 月の運営委員会で提言案を作成、年明けから分科会でのメール審議、工学部長会議への意見照会を経て、年度末に最終案を作成し、今回常設会議に提出されている。

その後、提言を担当した東工大・三平先生(運営委員)より、資料 6「我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着(提言)」提言について詳細な説明があった。また、岩附議長より午前中の工学部長会議で言い回しに若干の修正を加えることになったことが紹介された。若干の意見交換の後、連合会として本提言を承認し、今後の記者会への公表、外部との対話・意見交換などの提言フォロー活動を進めてもらうこととした。また、本年度も工学部長会議のイニシアチブの下、作成を運営委員会が担当して八大学からの提言を発信していくことを了承した。

(4) 高度工学教育の在り方について (資料 7)

北村会長より報告事項(3)で紹介した「文部科学省との意見交換会」の議論内容とその後の検討状況について資料 7 を用いて以下の説明があり、本件の議論状況に関する情報を共有した。

- ・ 昨年から意見交換会で議論してきた意見は、今年になって文科省が設置した「大学における工学教育の在り方に関する検討委員会(資料 7-1)」並びに同委員会下に設置した「ワーキンググループ(資料 7-2)」での議論に引き継がれた。
- ・ 意見交換会やワーキンググループに八大学工学部長会議から提出した意見は資料 7-3「高度工学教育の現状と今後の在り方に付いて」に示してあるのでご覧いただきたい。

- ・文科省の検討委員会・ワーキンググループでの議論内容は、この後に設定してある文科省・専門教育課の講演にて紹介されるので、会員には十分に注意を払って頂きたい。

3. 講演会

- (1) 経済産業省産業技術環境局大学連携推進室の飯村亜紀子室長より、「イノベーションのための産学連携」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた（講演 I 資料）
- (2) 文部科学省高等教育局専門教育課の福島崇企画官から、「大学における工学系教育の改革について」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。（講演 II 資料）

4. 今後の予定について

(1) 第 5 回 UK-Japan ワークショップの案内（資料 8）

東工大・岩附先生より、資料 8 を用いて今年度の第 5 回 UK-Japan 工学教育フォーラムが、9 月 7 日～8 日に英国・グラスゴー大学で開催されることが紹介され、各大学からの参加を歓迎する旨の案内があった。

(2) 今後の予定について（資料 9）

資料 9 を参考に、岩附議長より今後の幹事校の予定として、今年の秋が九州大学、来年の春が東京大学であることが紹介された。

- ・次回の幹事校の九大・高松工学部長より、本年 9 月 29 日（金）に福岡市天神にある福岡ガーデンパレスにて秋の常設会議を開催予定とのアナウンスがあった。
- ・次々回の幹事校の東大・三谷新領域創成科学研究科長より、来年 4 月 20 日（金）に KKR ホテル東京にて春の常設会議を開催予定とのアナウンスがあった。

(3) 会長交代について

資料 9 のとおり、今回、会長校が交代し、今年度と来年度は名古屋大学が会長校を担当する。岩附議長より、先の定時社員総会において北村先生が会長を退任し、代わって、名古屋大学の新美先生が会長に選任されたことが報告され、退任・新任の挨拶があった。

- ・北村前会長より退任の挨拶があり、全員の拍手でもって北村先生への謝意を表した。
- ・新美新会長より就任の挨拶があり、拍手でもって連合会の牽引役をお願いした。

以上をもって、第 133 回八大学工学関連研究科長等会議を終了し、岩附議長が閉会を宣言し、事務局長よりこのあと場所を移して情報交換会が開催される旨の案内があった。

以上